

かがやく瞳



菜の花タイム ～4年～

4年生が福祉の授業「菜の花タイム」を行いました。はじめに、大仙市社会福祉協議会の方から「バリアフリー」について教えていただきました。その後、見守りボランティアの松井様・渡邊様のご協力もいただきながら、「高齢者体験」「車椅子体験」「視覚不自由体験」の疑似体験や介助体験を行いました。

「高齢者体験」では、関節にサポーターやおもりを付けたりして自分の体が思うように動かない体験をしました。「車椅子体験」では、実際に車椅子に乗ったり押したりして、狭い通路を通るときやちょっとした段差を乗り越えるとき、どれだけ大変かを実感しました。「視覚不自由体験」では、真っ暗で何も見えない怖さを味わいました。また、その介助の体験では、声を掛けることの大切さ、難しさを感じることもできました。

この体験で味わったことは、他の障害の介助にも共通することですし、普段の生活でも大切にしたいことです。障害や介助の体験を通して日常のコミュニケーションに通じる大切なことを学ぶことができました。



【車椅子体験】
玄関のスロープを

古四王わくわく大作戦 II



前号でお知らせしました通り、第三弾「地域の先生から学ぼう」ということで、28日(水)に富樫武彦先生に来ていただき、ここまで調べてきて分からなかったことなどを質問し、答えていただきました。予定した時間をオーバーしての質問タイムとなった今回の授業。富樫先生が分からなかったことを質問した子どもがいたそうで、お帰りの際は、子どもたちの観察力の高さに驚いた様子でした。これからもまだまだこの学習は続きます。お子さんと一緒にフラワーロードを通過して、古四王神社を訪れてみてはいかがでしょうか。

ソーイングボランティア



手とり足とり？

手とり手とり？

「大丈夫！」

「上手だよ」



5年生の家庭科の授業に、例年お手伝いに来てくださっている因幡様と富樫様が今年もソーイングボランティアとして来校してくださいました。27日はお二人で、29日は因幡様お一人でのボランティアとなりました。お陰様で、5年生の子どもたちは大分針の使い方も慣れ、自信をもって作業する姿が見られました。

子どもたち共々、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。